



令和5年度 第4回運営推進会議

特別養護老人ホーム桜ホーム西神

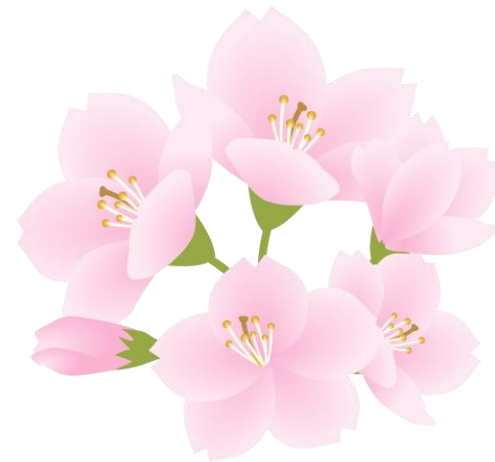
令和 5年 10月 19日 (木)





法人の理念

1. 公益的事業の積極的取り組み
2. 人権を擁護する
3. 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
4. 医療・教育・福祉の連携強化
5. 地域社会との共生



目次

1. あいさつ

2. 事業運営に係るご報告

- ① 稼働率
- ② 入居申し込み状況
- ③ ご入居者（ご利用者）概要
- ④ 職員の動向
- ⑤ インフルエンザ・新型コロナワクチン予防接種スケジュール
- ⑥ クリスマス・お正月の食費特別徴収
- ⑦ 令和5年度 西区感染症対策実務者研修会（西保健センター主催）
- ⑧ 事故・苦情の発生状況と詳細
- ⑨ イベント活動内容報告

3. 研修・委員会活動（従業員の資質向上）

4. その他（質疑応答）

5. 今後の予定



2. 事業所運営に係るご報告

稼働率

昨年度（目標98%）

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養（個室ユニット型）	97.04%	94.92%	97.29%	94.07%	95.24%	94.33%	96.65%	96.08%	95.36%	93.31%	95.58%	97.86%	95.64%
地域密着型特養（多床室）	92.33%	94.35%	100%	99.84%	91.77%	93.67%	96.77%	91.67%	95.32%	100%	100%	95.48%	95.93%
櫻ホーム西神（合算）	96.17%	94.81%	97.84%	95.67%	94.61%	94.37%	97.19%	95.26%	95.41%	94.81%	96.46%	97.29%	95.82%

今年度（目標98%）

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養（個室ユニット型）	96.25%	96.94%	97.13%	93.35%	90.85%	93.96%							94.74%
地域密着型特養（多床室）	92.17%	96.13%	100%	100%	100.00%	96.00%							97.38%
櫻ホーム西神（合算）	95.43%	96.77%	97.70%	94.68%	92.68%	94.37%							95.27%

98%達成できなかった原因

- ① 訪問営業が出来ず待機者獲得ができなかった。
- ② 入院者が多く発生した。

98%達成するための対策

- ① 営業の計画を立て必ず実施する
- ② 申し込みをいただいた時点で面談スケジュールを立てタイムリーに入居調整する
- ③ 入院が発生した際は、タイムリーに空床ショートステイの確保に努める

稼働率

空床ショートステイ

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
空室日数(室)	90室	76室	69室	165室	227室	145室							128.6室
ご利用日数(日)	2	15	12	23	54	90							32.6
利用率	2.22%	19.73%	17.39%	13.93%	23.78%	62.06%							23.18%

合算稼働率 (空床ショートステイ込み)

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ユニット・地域密着型合算	95.43%	96.77%	97.70%	94.68%	92.68%	94.37%							95.27%
空床ショート稼働率	0.08%	0.60%	0.50%	0.96%	2.25%	3.75%							1.35%
合算	95.51%	97.37%	98.20%	95.64%	94.93%	98.12%							95.62%

(入院者) 概要 (10月8日時点)

保険者別利用状況

ユニット型

実施機関	性別		小 計	入院者	合 計
	男	女			
神戸市	12	38	50	3	47
明石市	5	0	5	0	5
加古川市	0	1	1	0	1
大阪市	1	0	1	0	1
四国中央市	0	1	1	0	1
三木市	9	11	20	2	18
その他	0	2	2	0	2
小 計	27	53	80	5	75
特別な事由による入所	0	0	0	0	0
合 計	27	53	80	5	75

地域密着型

実施機関	性別		小 計	入院者	合 計
	男	女			
神戸市	12	8	20	0	20
小 計	12	8	20	0	20
特別な事由による入所	0	0	0	0	0
合 計	12	8	20	0	20

平均介護度

ユニット型

要介護度	総 数	旧措置者
変更申請中	0	0
1	0	0
2	2	0
3	24	0
4	34	0
5	20	0
計	80	0
平均 要介護度	3.90	

地域密着型

要介護度	総 数	旧措置者
変更申請中	0	0
1	0	0
2	2	0
3	24	0
4	34	0
5	20	0
計	80	0
平均 要介護度	3.90	

(入院者) 概要 (10月8日時点)

ユニット型

8月	バラ	K.K	左大腿部頸部骨折	神戸中央病院	8月3日～8月27日	25	転倒リスクあり	退院
	ヒマワリ	S.K	肺炎 尿路感染	広野高原病院	8月3日～9月28日	57	×	退院
	ハス	J.H	左大腿部転子部骨折	ときわ病院	8月5日～9月11日	38	転倒リスクあり	退院
	ダリア	A.K	腹膜炎 腸閉塞	西市民病院	8月10日～8月28日	19	×	解約
	アジサイ	S.S	脳梗塞	新須磨病院	8月13日～9月22日	41	×	解約
9月	モモ	M.N	肺炎	大久保病院	9月1日～9月17日	17	×	退院
	アジサイ	K.H	左大腿部頸部骨折	ときわ病院	9月5日～入院中	34	×	
	バラ	N.T	多発性骨髄腫疑い	三木山陽病院	9月8日～入院中	31	×	
	ウメ	K.H	左眉毛部皮膚腫瘍	西神戸医療センター	9月28日	1	×	退院
	ハス	J.M	嘔吐 喘鳴	ときわ病院	9月29日～10月5日	7	過去に同症 状あり	退院
10月	アジサイ	N.D	肺炎疑い	三木山陽病院	10月2日～入院中	7	入居後同症 状あり	

※黄色は現在ご入院中の方になります

(入院者) 概要 (10月8日時点)

地域密着型

	ユニット	氏名	入院理由	入院先医療機関	入院期間	日数	入居時の入院リスク	備考
4月	サクラ	K.M	肺炎	三木山陽病院	3月4日～4月30日	58	×	解約
	サクラ	S.O	肺炎	三木山陽病院	4月14日～5月24日	42	×	退院
9月	サクラ	Y.A	誤嚥性肺炎	神戸徳洲会病院	9月7日～入院中 来週退院予定	32	×	

※黄色は現在ご入院中の方になります

2. 事業所運営に係るご報告

入居申し込み状況

	種別	人数	男性	女性
待機者（人）	ユニット	9	5	4
	多床室	5	2	3
	保 留	2	理由：入院中・急ぎではない	
平均介護度	3.36			
平均年齢（歳）	84.81			

※10月 8日時点



職員の動向

退職者（人）

8月

パート職員 0
正規職員 1（介護職員）

9月

正規職員 2（介護職員）

入職者

8月

パート職員 1（看護職員）

9月

パート職員 1（厨房職員）



〈インフルエンザワクチン接種〉



- 日 程：10月16・17・20日の計3回
- 対象者：職員
※ご入居者については、11月中旬～下旬予定

日付	接種職員数
10月16日	23名 実施者
10月17日	25名 実施者
10月20日	18名 予定者
合計	67名



〈新型コロナウイルスワクチン〉

- 日 程：11月27・28日 12月上旬計3回で調整中
- 対象者：ご入居者、職員
- ワクチンの種類

コミナティ RTU 筋注（1 価：オミクロン株 XBB.1.5）

※接種するワクチンは、ファイザー社製のオミクロン株対応
1 価ワクチン（オミクロン株 XBB.1.5）です。新型コロナウイルス感染症の重症化予防を目的として接種します。





クリスマス・お正月の食費特別徴収



- 特別食料金 (昨年)
- 12月分 800円(税込み)×1回 (クリスマス会) = 800円
1月分 550円(税込み)×3回 (お正月三が日) = 1,650円



令和5年度 西区感染症対策実務者研修会



神健保西保第88号

令和5年8月30日

西区 高齢者・障がい者（児）施設 各位

神戸市保健所西保健センター長

令和5年度 西区感染症対策実務者研修会の開催について

錦秋の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

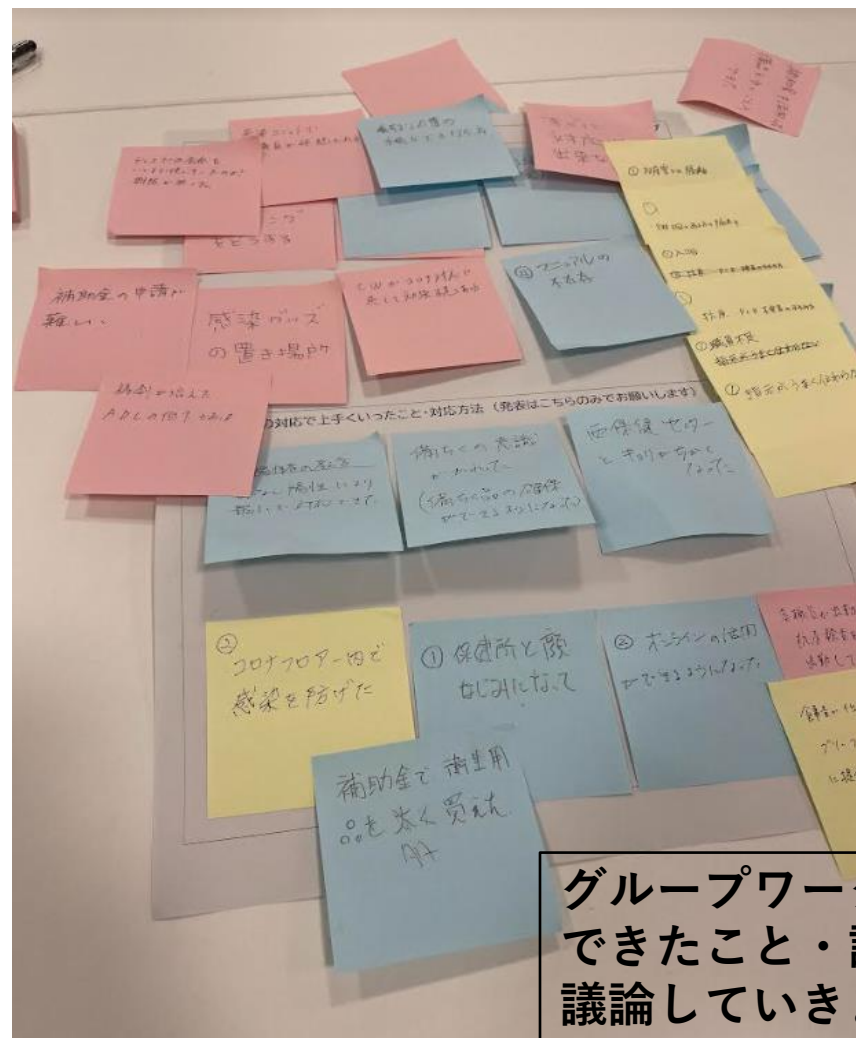
平素は、西区の保健福祉事業にご協力いただきありがとうございます。

この度、下記の日程で感染症対策研修会を開催いたします。

ご多忙中とは存じますが、職員の方々にご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 日時 令和5年10月5日（木）
午後2時～午後4時（午後1時30分から受付）
2. 場所 西区役所 4階 健康教育室（西区糀台5丁目4-1）
3. 内容
「新型コロナウイルス対応を振り返る」
「感染性胃腸炎の感染対策について」
①特別養護老人ホーム櫻ホーム西神さまによる施設内感染症対策のお話
②グループワーク（コロナ禍の振り返り・今後に向けての情報交換）
③吐物処理演習
4. 定員 30名



グループワークでは各事業所のできたこと・課題を出し合い、議論していきました



特別養護老人ホーム桜ホーム西神における
新型コロナウイルス集団感染に係る
検証報告書【抜粋】

令和5年10月5日

4 今後の基本的な対応

(特別養護老人ホーム櫻ホーム西神における新型コロナウイルス集団感染に係る検証報告参照)

5 考察

(1) 平常時の感染予防のあり方

- ① 「感染しない感染させない」の意識を持ち、ウイルスを持ち込まない。
- ② 感染症の正しい知識と感染予防のスキルを身に着け、効果的に実践する。

高齢者福祉施設は、高齢者が安全に安心して暮らせる生活の場であるという基本に加え、より質の高い介護サービスの提供に努めている。

また、①ご入居様様の多くは介護度が高くかつ急変リスクも高いこと、②認知症などで状況を理解することや自ら症状を訴えたりすることが難しいこと、③多くの介護の局面ではご入居様様と職員との直接接触が避けられないことなどから、感染予防や感染拡大防止のリスク管理が困難となる場合もあり、一旦、ウイルスが持ち込まれると短時間に集団感染となるおそれが強い。全ての職員が、日頃から感染症の正しい知識と感染予防のスキルを身に着けて、「感染しない感染させない」の意識を持ち、ウイルスを持ち込まないことが重要である。

なお、万が一の感染に備え、平常時からの様々な事態を想定した感染症対策が重要である。

〔必要な対応〕

当施設	<p>①感染症は自然災害等と同様に危機管理事象との認識を持ち、平常時から感染症がもたらす影響の大きさを考え、不測の事態に備えて、早期に事業継続計画(感染症版 BCP)を作成することが必要であるが、完成までの間は、感染症マニュアル及び簡易版の対応マニュアルで対応する。</p> <p>②全職員が感染症に関する知識を深め、感染予防のスキルなどを取得できるように実践的研修を継続的に実施する。</p>
職員	<p>①ご入居者様との接触の有無に係わらず、施設内にウイルスを持ち込まないため、「感染しない感染させない」を意識し、正しい个人防护具(PPE)スキルを取得するとともに、感染リスクから自らを守ることを考え行動する。</p> <p>②役職にある職員は、率先して感染予防に取り組み、その見本を示す。</p> <p>③介護倫理、看護倫理などの観点に基づき、職員は新型コロナウイルスワクチンの接種を受けるよう努める。</p>
ご家族様	<p>①ご家族様に対して面会ルールを明示し、守られない場合は、面会を中止することを周知する。</p> <p>②面会方法及びルールは、社会全体の感染状況を踏まえて随時見直す。</p>

(2) 初期対応、感染拡大防止対応のあり方

- ①現場の情報を正確に把握し、既にできていること、足りてないことを共有する。
- ②情報管理を一元化し、対策決定や指示出しを行い、その実行と効果を確認する。
- ③介護スキルとPPE（個人防護具）スキルとが、ともに生きるように工夫を重ねる。

初期対応において、現場の情報を正確に把握することが重要である。具体的には、感染症の特性、疫学的視点、介護・医療の視点、ご入居者様の状態などの面から、既にできていること、足りてないことを共有し、どのような対策が必要なのか、混乱している現場の中で、優先順を見極めて判断し、感染防止を実効あるものにする。

特に、初期の段階では、現場情報の収集と感染防止対策の実施だけでなく、ご入居者様のご家族様への連絡、神戸市保健所（神戸市西保健センター）などによる疫学調査や入院調整、医療機関や関係事業所との連絡調整、情報発信などの対外的な必要事項が同時に進む。こうした状況下では、情報管理を一元化し、多様な情報から必要な対策を決定し、その内容を的確に関係職員に指示し、その実行と効果を確認していくことが重要となる。

また、判断の迅速化や指示系統を強化するため、責任を明確にした対策本部を設置して、情報管理を一元化することも有効な手段である。この初期段階の対応の成否によって、その後の感染の拡がり方が大きく左右される。次の感染者が出なければ、ウイルスは持ち込まれたものの感染拡大は防げたことになる。

実際には、最初の感染が判明した初期段階では、既に2次感染が生じているおそれもあることから、それまでに食い止める必要がある。

この初期対応をウイルスがすり抜けと、2次感染に留まらず、3次感染へと拡がり、その感染経路も複数となるおそれもあり、結果としてまん延化することになる。

〔必要な対応〕

当施設	<p>①責任をもって、現場の情報を集約・共有し、迅速に必要な対策を決定・実施し、その状況を確認できる体制を構築する（施設長、指導課長への報告・連絡の徹底）。平常時にはない判断も必要となることから、全職員に責任の所在を明確に示すことが重要である。</p> <p>②特に、多くの職員に正しく情報が迅速に伝わり、全てのユニットなどにおいて行動に移せることができるよう、常日頃から信頼関係を築きコミュニケーションカを高めるなど、円滑な伝達方法を構築しておく。</p> <p>③現場の介護職員の心身両面での負担が増大し、シフトが組めないといった事態に陥らないよう、法人間や近隣施設などから協力を得られる仕組みを構築する。</p>
職員	<p>①感染拡大を防止するために、自らが感染をしたり、感染源になることがないように正しい PPE（個人防護具）の着脱を行い、かつ、職員間でお互いの装着状況を確認し合う。</p> <p>②介護スキルと PPE（個人防護具）スキル、この二つのスキルがともに介護現場で生きるよう、職員間で工夫を重ね、学び合いを大事にする。</p> <p>③役職にある職員は、率先して感染予防に取り組み、その姿勢を示す。</p>
外部 応援職員	<p>レッドゾーンに立ち入ることはなくとも、イエローゾーンで活動することから、感染症に関する知識を深め、「感染しない感染させない」を意識して、感染予防のための注意を最大限に払う。</p>

(3) 療養後のご入居者様の心身機能の維持のあり方

①療養が終了したご入居者様に対し、感染する以前の生活に戻っていただくための多職種連携チームによる機能訓練などを実施し効果を確認する。

高齢者福祉施設において、ご入居者様の感染が判明すると、当該ご入居者様の療養介護と他のご入居者様への感染防止を同時に対応しなければならない。

特に、初期段階の対応がその後の感染の拡がり方を左右するため、感染者と濃厚接触者となったご入居者様を介護しながら、感染拡大のリスク管理を行うことは難しい。

感染が判明したご入居者様のうち、専用病床を有する医療機関に入院したご入居者様は、早期に治療を終えて当施設に戻ることによって心身機能の低下を最小限に抑え、当施設で機能訓練を行い、感染する以前の通常的生活に戻っていただくことが最善である。

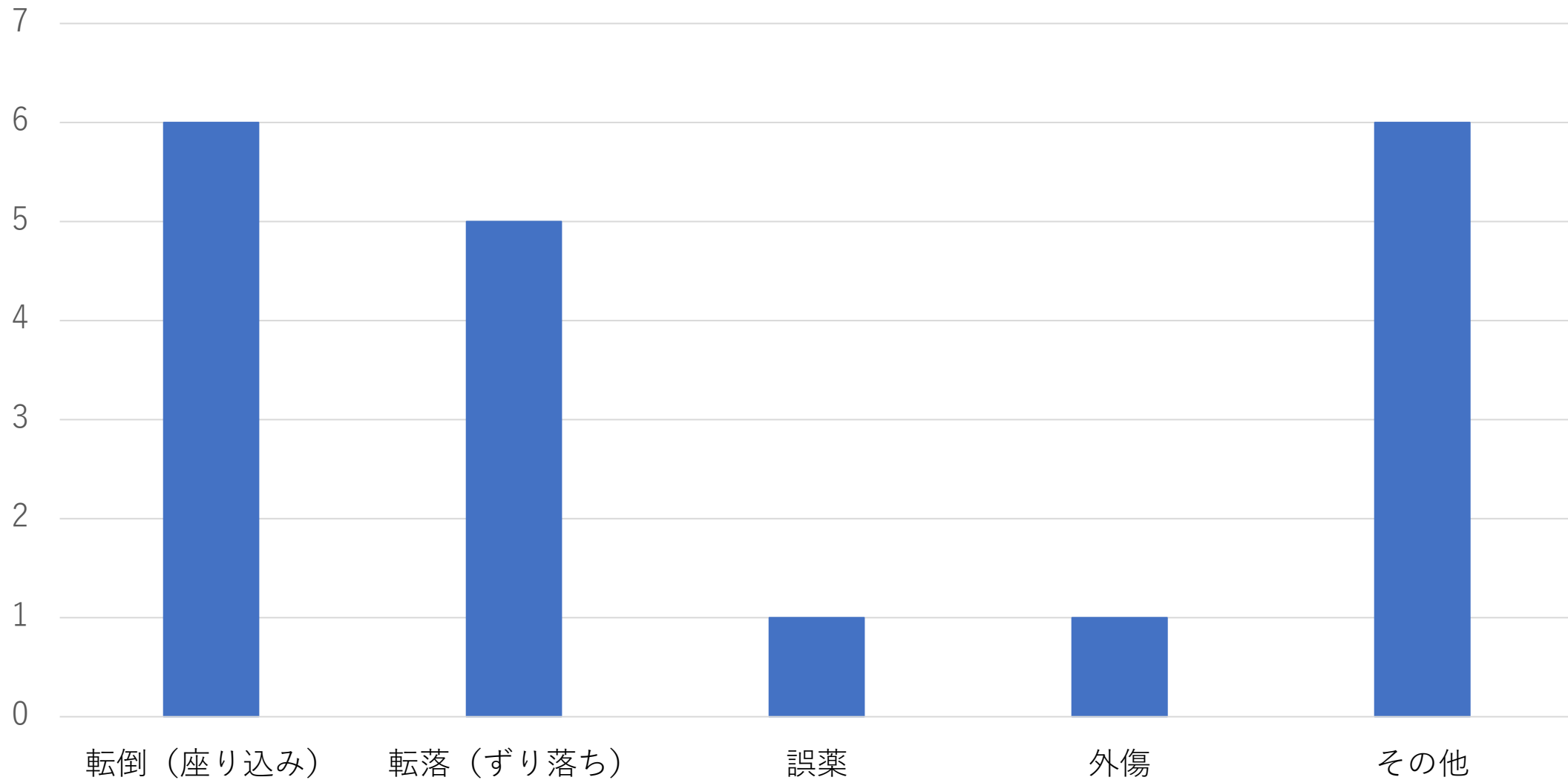
また、当施設で療養を行うご入居者様には、感染が収束したと同時に、機能訓練を開始し心身機能の低下防止を図る必要がある。

〔必要な対応〕

当施設	<p>①ご入居様様が陽性と判明した場合、医師の判断に基づき入院依頼を行うとともに、多くの場合入院ができないことから、当施設内で療養ができる体制を講じる。</p> <p>②施設内で療養が終了したご入居様様及び退院し当施設に戻られたご入居様様に対して、心身機能の維持又は回復のための多職種連携チームによる機能訓練などのサービスを提供する。</p> <p>③入院中にご入居様様の心身機能が低下しないよう、医療機関との連携方策を検討する。</p>
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

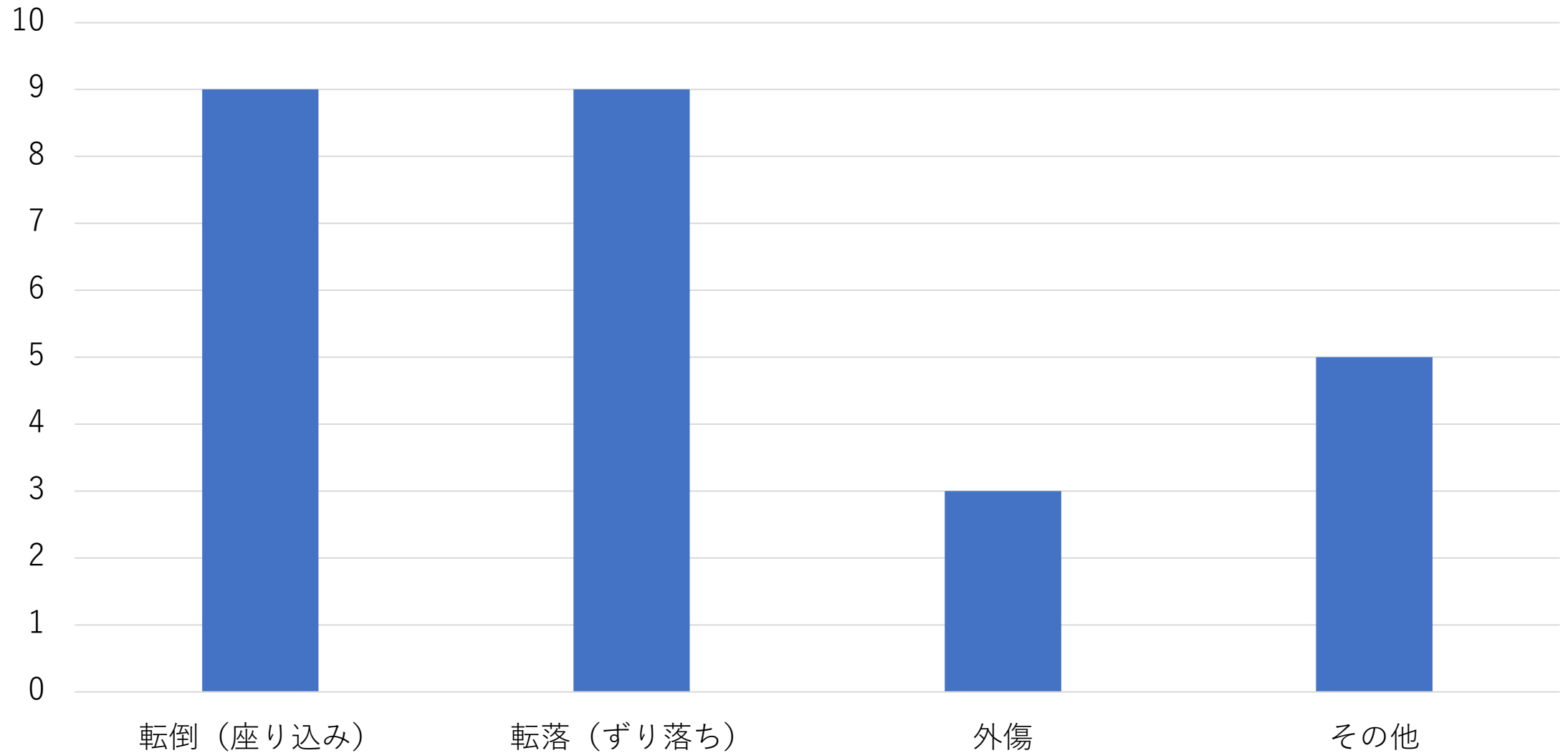
8月 事故の割合

総件数19件

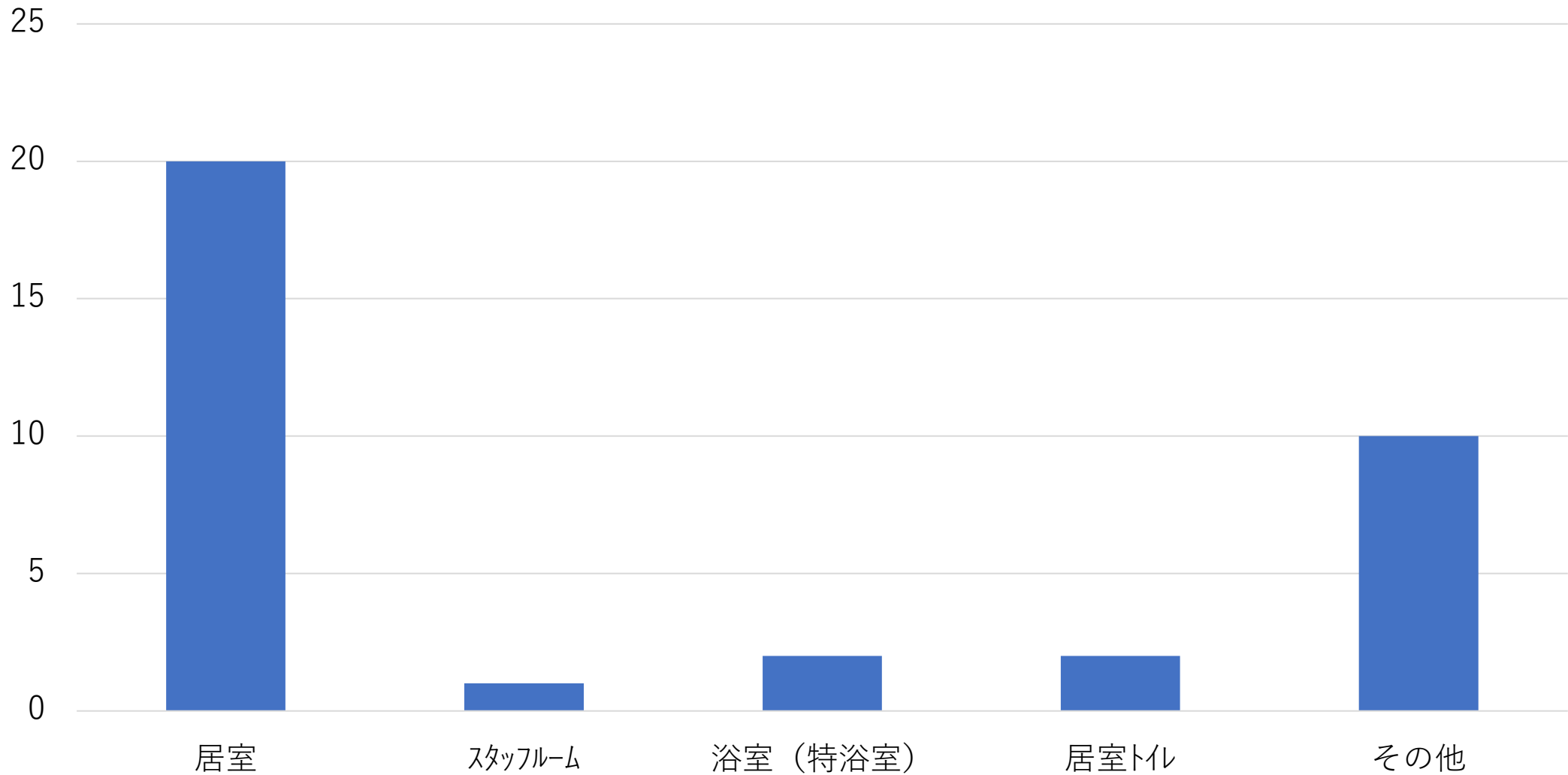


9月 事故の割合

総件数26件



8.9月 事故の場所



受診した事故内容①

バラ K.K 様 8月1日 07:00発生 右大腿部頸部骨折

発生状況：隣室の方介助中本氏より「ちょっとーちょっとー」と声が聞こえた為訪室しようとした時に、ドンと物音がなり「痛いー」と叫び声が聞こえ様子確認行う。仰向けに転倒されている本氏を発見する。右足の靴だけ履かれており左足は裸足であった。

発生時の対応：応援職員を呼び外傷確認行う。後頭部腫脹、疼痛あり。後頭部クーリング行う。

事故原因：下肢筋力低下し独歩では転倒の可能性が高いことを本氏が認知症により理解できない。
トイレに行こうとされていた

再発防止策：衝撃緩和マットの使用検討

経過記録：11:30 右大転子部周辺を触りながら痛みを訴える。右下肢の屈曲伸展の動作が他動でも自動でも痛みありできない
12:10Dr回診、緊急性はないので痛みについては薬で対応し痛みが続くようなら受診と言われる
8/2 10:00右足の痛みあり、右側頭部発赤・腫脹あり、疼痛継続
14:00病院受診、右大腿骨頸部骨折の為入院となる

受診した事故内容②

アジサイ H・K 様 8月4日 15:00発生 左大腿部頸部部骨折

発生状況：体重測定のため、エレベーターホールに誘導中に他入居者がよろめき本氏に接触した。接触後自身もよろめき崩れるように転倒した。
転倒中に看護師が支えようとしたが間に合わなかった。左側臥位で転倒し、直後は左大腿部痛訴えあった。

発生時の対応：理学療法士と看護師が確認するも腫脹・熱感なし。立位とすることもできたため経過観察。

事故原因：本人要因：筋力低下、長距離の歩行、他入居者との接触によるふらつき
職員要因：独歩入居者を2人連れていたこと

再発防止策：できる範囲で1人ずつの誘導の実施
体重測定をユニット毎に近い場所で行う

経過記録：16:00足に力が入らないため、状態確認すると疼痛増強あり。立位困難と歩行もできないことから診療医報告。
整形受診必要となり受診の結果、左大腿部頸部骨折で入院となる。

受診した事故内容③

ハス H・J 様 9月4日 15:00発生 左大腿部転子部骨折

発生状況 : 1:30他者の部屋に入っていく為スタッフルーム横に椅子をおき座ってもらう
2:30他者の部屋の電気が点いた為ご本人から離れる。排せつ支援に入っているとスタッフルーム横から「ドン」と音がなり急いで本氏を確認するとイスから落ち左側臥位に倒れているところを発見する。左頭部にタンコブができています。

発生時の対応 : 外傷確認行い左頭部にタンコブができています。クーリング実施。痛みがあるが部位は特定できず。

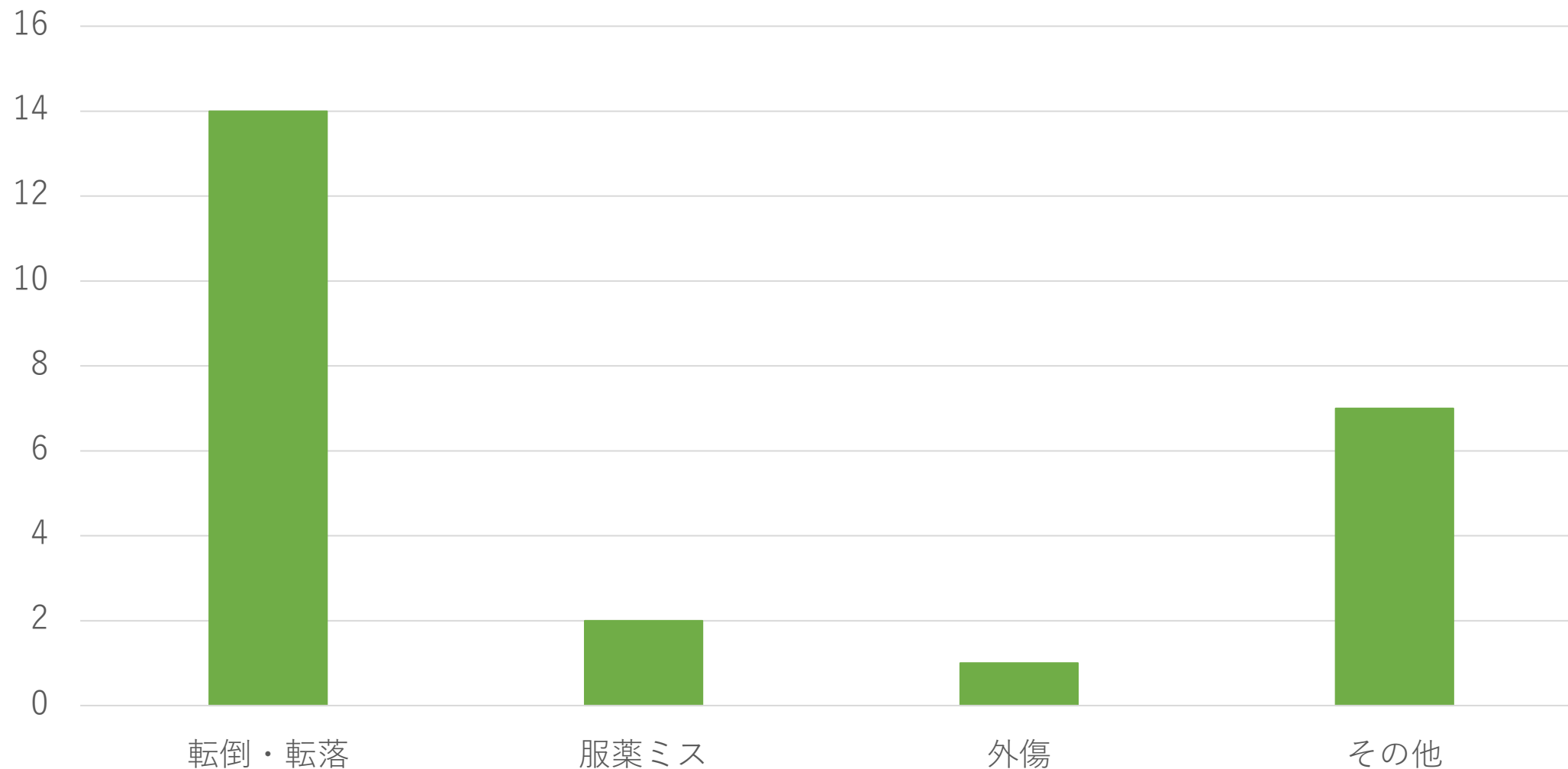
事故原因 : 昼夜とも休まれる時間が短く部屋から出てくる
普段から下肢の痛みがあり医師・理学療法士が評価した結果、受診調整をしていたが施設内で新型コロナウイルス感染者が確認されたので受診調整に遅れが生じてしまった
両下肢の浮腫が強く靴が履けない状態のため、踵を踏んで使用

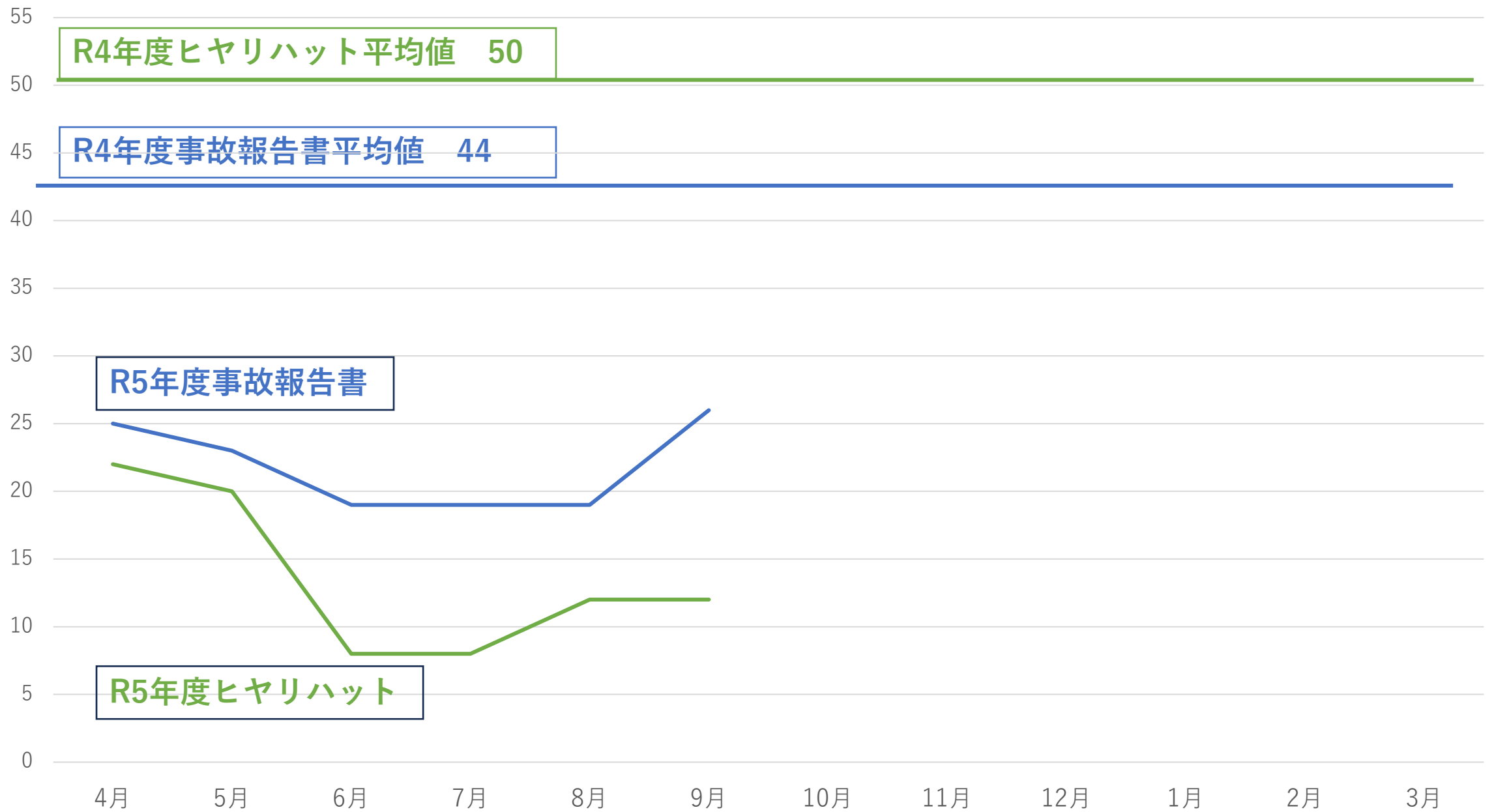
再発防止策 : 睡眠状況を医師に報告して眠前薬の効果を報告する(睡眠時間の確保)
歩行状態の評価

経過記録 : 10:00左大腿部周辺に疼痛、熱感あり
17:00受診し左大腿部転子部骨折、頭部左側出血のため入院となる

8.9月ヒヤリハット

総件数 16件





夏祭り

・開催日時:8月20日





敬老会

- 開催日時: 9月10日
- 喜寿、米寿などの方の長寿祝いをいたしました。
平均年齢男性: 84.3歳 女性: 87.6歳
最高年齢男性: 94歳 女性: 104歳



4. その他

・介護保険外サービス費用について

食費 : 朝食 (410円) 、昼食 (600円) 、夕食 (640円) ※おやつ代別途50円
※ 別紙P6 参照

<理美容>

事業者名 : 訪問理美容 BLOOM
カット費用 : 2,200円 (税込)
実施日 : 第2木曜日 (毎月)

事業所名 : 訪問理美容 ヤング
カット費用 : 2,200円 (税込み)
実施日 : 第3金曜日 (毎月)



令和5年度 第4回
運営推進会議
デイサービスセンターさくらさく

令和5年10月19日（木）

2. 事業所運営に係るご報告

利用状況

登録者数（人）	24（男性12 女性12）
平均介護度	2.2
平均年齢（歳）	83

※10月現在

ご利用者概要

1) 地区別実利用者人員状況

地区名	男	女	計
月が丘	0	1	1
美穂が丘	2	1	3
桜が丘	3	3	6
秋葉台	0	1	1
栄	1	2	3
北山台	0	1	1
富士見ヶ丘	1	1	2
狩場台	3	0	3
学園東	1	1	2
竹の台	0	1	1
井吹台	1	0	1
計	12	12	24

2) 回数別利用人員

	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回	週6回	計
認知症	5	8	6	4	1	0	24
認知症(予防)	0	0	0	0	0	0	0

3) 要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	変更申請中	計
認知症	0	0	9	7	5	2	1	0	24

稼働率

昨年度（目標76%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 平均
総利用 人数	208	214	215	232	228	250	259	250	244	242	263	260	2606
月間 稼働率	67.6%	68.6%	68.9%	74.4%	70.4%	80.1%	83.0%	80.1%	81.3%	84.0%	91.3%	80.2%	77%

今年度（目標80%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 平均
総利用 人数	237	239	238	226	234	237							235
月間 稼働率	79.0%	73.8%	76.3%	72.4%	72.2%	76.0%							74.9

事故の発生・苦情状況と詳細

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事故	2	2	2	1	0	2						
苦情	0	0	0	0	0	0						
ヒヤリハット	0	2	1	0	2	1						
合計	2	4	3	1	2	3						

8月 ヒヤリハット2件

転倒の可能性 テラス歩行訓練時、段差につまづきふらついた（段差などでの見守りと声掛けをする）

離設の可能性 降車後に職員通路を一人で歩いていた（一人ずつ降車していただくようにする）

9月 事故2件

表皮剥離 入浴介助終了後に麻痺側の左前腕に出血あり（皮膚状態を確認しながら着脱など注意する）

内出血 車いすの背もたれを戻したときに背中を挟んだ

（背もたれを戻すときはしっかりと前かがみになっているか確認する）

デイの様子

神戸ワイナリー（農業公園）に行きました



認知症カフェの開催

8月18日 櫻ホーム西神診療所医師による講義（9人参加）

9月15日 介護予防体操+カラオケ（7人参加）

介護の相談やフレイル予防体操、体組成計測定
焙煎コーヒーの提供



櫻ホーム西神・デイサービスセンターさくらさく



日時 令和4年9月15日(金) 13:30~15:00

場所 櫻ホーム西神 4階 多目的室

対象 介護に関心がある方・介護の悩みをお持ちの方など、
どなたでもご自由に参加出来ます。

コロナウイルス感染症対策を実施します。
職員たちと美味しいコーヒーを飲みながら、お話をしてみませんか？
皆様のお越しをお待ちしています。

事前申し込み

今後の予定

毎月第3金曜日開催予定です。

次回：10月20日(金) 13:30~15:00

(※日時等は変更する可能性があります。)

【お申込】 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神
神戸市西区月が丘1丁目41番12号(神戸電鉄栄駅 徒歩約7分)
TEL: 078-995-7145 Fax: 078-995-7146 (FAX) 担当:おさだ

3. その他

①介護保険外サービス費用について

食費　：昼食（650円）　※おやつ代50円込み
夕食（640円）　※希望者のみ

<理美容>

事業者名：訪問理美容　BLOOM
カット費用：2,200円（税込み）
実施日：第2木曜日（毎月）

事業所名：訪問理美容　ヤング
カット費用：2,200円（税込み）
実施日：第3金曜日（毎月）

②地域活動について

第25回西区健康福祉フェア&はっぴ〜カーニバル参加（10月7日）
押部谷西地区ネットワーク会議参加（10月11日）

4. 今後の開催予定（運営推進会議）

場所: 櫻木一ム西神 多目的室 時間: 10:00~11:00		
令和5年	4月	20日
	6月	15日
	8月	17日
	10月	19日
	12月	21日
	2月	15日